

1. 件名：「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の事業変更許可申請に係るヒアリング（2）」

2. 日時：令和5年10月2日（月）15時00分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

長谷川管理官、松本調査官、尾崎安全審査官、田中管理官補佐、伊藤安全審査専門職、田口技術参与

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 他14名

5. 要旨

（1）リサイクル燃料貯蔵株式会社より本年9月21日付けで提出された使用済燃料貯蔵事業変更許可申請（収納する使用済燃料の仕様、仮想的な大規模津波時の敷地境界線量評価、ガスモニタの撤去等）の事実関係について確認した。

6. 自動文字起こし結果：別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁の田中です。10月2日、RFSの事業変更許可に係るヒアリングを開催いたします。
0:00:10	まずRFS側の出席者の紹介をお願いいたします。
0:00:15	はい。RFSむつ本社でございます。こちら、赤坂センター長以下、総勢9名でございます。
0:00:23	東京事務所の方をお願いします。
0:00:27	はい。東京事務所の方ですけども、WebEXで三重在宅で参加している菜園さあ、主任者
0:00:38	こちら、ワタナベですけども、以下へ1、3、
0:00:46	総勢五名になります。以上です。
0:00:52	タナベソフトウェアむつ本社で、総勢10名東京五名ということで、トータル15名でよろしいでしょうか。
0:01:01	IRSはございます。本社側9名でございますすみません発音が不明瞭、救命9名と五名で14名ですね承知しました。
0:01:13	規制庁側です規制庁側管理官のハセガワそしてマツモトオザキ。
0:01:20	イトウタグチタナカの計6名が出席しております。
0:01:26	それでは本日のヒアリングですけども、9月21日に申請がありました事業変更許可に対しまして、幾つか確認したい事項がございますので、こちらからの
0:01:39	質問内容に対する回答をお願いいたします。
0:01:45	規制庁の長谷川ですけどもちょっと幾つか確認したいのでまず順番にあれなんですけど、まず、今回、三菱の型式証明を受けた金属キャスクを、2種類、
0:01:59	追加するっていうことを聞いていて、ただ何か燃料のスペックみたいなものが、申請書等、
0:02:10	型式証明を受けたやつはちょっと何か一致していなくて、それはちょっと申請書上、
0:02:19	一部ミスがある、あつたんじゃないかと言われているんですけども、基本的には、型式証明を受けた金属キャスクのスペックは丸ごと
0:02:31	ここに受け入れるっていうそういう話でいいんですかね。
0:02:38	はい。RFSむつオカベサノキムラでございます。はい。丸ごと受け入れるという理解しております。
0:02:48	規制庁の長谷川ですけどよって、現行の申請書は、一部不明確なのか、記載がちょっと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:57	おかしいところがあるのかというそういう古藤の認識でいいですか。
0:03:04	はい。みずほ崎村でございます。私ども申請書の方は型式証明番号を明記して中身のスペックは一部代表的な記載をさせていただいてまっておりますので、
0:03:16	趣旨としてはもう型式型式証明を丸ごと受け入れると、そういう趣旨でございます。以上です。はい。申請書の話は修正とか、
0:03:28	必要だったらもうやるってことでこれ最後でいいんですけど、議会審査会合のときには、今の大事な部分、この丸ごとスペックそのままなんですよっていうことはしっかり説明していただきたいと思いますが、いいですか。
0:03:48	はい、承知いたしました。はい。
0:03:53	次2、
0:03:57	この見やすく何の話なんですけど、まず熱的要件っていう部分については、
0:04:08	現行の既認可のキャスクより発熱量が、
0:04:14	大きいタテアノ除熱性能みたいなのは、今回
0:04:24	やり直して、
0:04:30	なんていうの設計基準温度内に収まっていますというのはそういうことでいいですかね。
0:04:38	はい。RFSむつ本社キョウラでございます。そのご理解で結構でございます。
0:04:43	ところで比木人可能。
0:04:48	最大発熱量みたいなものっていうのは、これは今現行の
0:04:55	大型キャスクのスペックなのか、それを上回った、これスペックなんですか、どっちなんですかね、すみません、本当は知らなきゃいけない。
0:05:10	はい。RFSむつ、御社のキョウラでございます。今回はもう1度、既認可としていただいたこの大型キャスクタイプ2Aの部分が発熱量はそのまま書いてございません。
0:05:23	以上です。ごめんなさい。それが10、例えば12.1kWって、今資料見ると、12.1キロワットは、
0:05:32	が、これがBWRの用の大型キャスクのスペック。
0:05:39	はい。その他でございます。了解です。はい。
0:05:43	いや、これはこれでやり直してOKっていうことなんでそれはそれで、
0:05:48	説明してもらえればいと、次2、
0:05:53	これが遮へい上の話なんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:56	要するに、
0:06:00	プラス食う、スペクトルね。
0:06:04	スペクトルはこれは、
0:06:07	何て言うのかな設計建屋の設計用の
0:06:12	スペクトルっていうのは、
0:06:15	どうも話を聞いていくと、今みたいに、大型キャスクのスペックではなくて、
0:06:22	もうちょっとこう、何て言うのかな、過去のいろんなキャスクがあったときの包絡されているスペックっていうそういうことですからこのフォーラムスペクトルっていうのは、
0:06:37	アレスむつの上野です。はい。そのご理解で結構でございます。
0:06:43	ただ、
0:06:44	ちょっとだから、さっきの発熱量の話と、これはちょっと注意して説明していただく必要が多分あるんだろうなというふうに思っています。
0:06:56	今回だから包絡されているんで、過去の既認可の大型キャスクも、
0:07:04	今回新しい二つのキャスクも、このいわゆる崩落設計オノ包絡スペクトルというものに包絡されているんで、
0:07:14	建屋、貯蔵区域の線量評価っていうのはその内数ですよっていうのはそういうことですかね。
0:07:23	まずは、
0:07:25	RFSむつの植野です。その通りでございます。以上です。一方で、
0:07:33	大型キャスク、今、
0:07:35	許可で受入れる大型キャスク食うのスペクトルと、今回追加する二つ。
0:07:42	を比較する等、
0:07:45	今回の蓋通のうち、どっちかとかP、Bの方が、D、どういう関係にあるんですかね。
0:07:56	大小関係でいうと、
0:08:00	RFSむつの植野です。
0:08:03	はい。BWR用の中型キャスクが、条件的には、一番
0:08:11	厳しいというふうに考えております。BWR用の千葉佑です。はい。
0:08:20	それで順番的には、
0:08:26	RFS物の、
0:08:28	植野です。
0:08:33	言うと、
0:08:34	BWR用の中型キャスクが一番厳しくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:40	その次がBWR用の大型キャスク。
0:08:46	最後はPWR用のキャスクになります。以上です。
0:08:54	何か規制庁の長谷川ですけど。なんかね、うちの中で今ちょっと違うんじゃないかねとかって言って、
0:09:03	10条の88とかっていうページの、何か補足説明資料見てたり、
0:09:12	順番で普通、4ページあたりを見て、
0:09:16	何か何かちょっと違うんじゃないみたいなことを言ってるんだけど、
0:09:22	藤。
0:09:23	どう思います。私、大丈夫です。ここ緑も。
0:09:29	俺についてね。大丈夫ですか。ごめんなさい。大丈夫らしいです。
0:09:37	なので順番から、AとBの中型、Bの大型、Pっていうそういうことでいいですか。
0:09:48	RFSむつの植野です。すいませんちょっと私が説明不足でございました。
0:09:55	宇井今野順番は、
0:09:58	床γ線の実効線量率、減衰比の順番がそうになっておりますが、
0:10:07	イトウ、
0:10:08	そアノ注水しとかも考えますと、その
0:10:12	仮想的大規模津波が来たときの、
0:10:16	いう凸
0:10:18	ん線量評価上ですね、そちらの方は、
0:10:22	順番的には、BWRの中型、
0:10:28	第一番厳しくて、
0:10:30	2番目が、PWR用、
0:10:34	が、
0:10:35	2番目で、3番目がBWR用の大型となっておりますが、これもちょっと
0:10:44	補足させていただきますと、ちょっと断面積ライブラリの違い等もございまして、
0:10:49	少しちょっと
0:10:51	BWR用の大型の断面積ライブラリーは、
0:10:56	DLCのちょっと設計をしているので、
0:11:01	少し単純に、そういう意味では、入れてる。
0:11:05	比較はできなくてスペクトルという意味では、
0:11:09	しかない。
0:11:11	何かできないから。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:14	あります。
0:11:15	どう。
0:11:17	そういうそういう意味では、戻りますと、
0:11:23	γ線の実効線量率の下、減衰比は、あのさ、先ほど申し上げたように、
0:11:31	中型キャスクが一番で、
0:11:34	大型キャスクが2番で、PWR用のキャスクが3番目という、
0:11:40	ホームページ、もう左側の通りってどうか、はい。はい。その通りですね 中性子が違うということ。
0:11:49	規制庁の長谷川ですけど。
0:11:53	すいません。どうぞ。はい。RFS物の植野です。そうですねスライドの右 側の方になるんですけれども、BWR用の中型キャスクが一番厳しいん ですけれども、
0:12:05	ちょっと
0:12:07	もう二つの方は、
0:12:10	図でご覧いただくように市のほぼ、
0:12:13	重なっているという状況でございます。
0:12:16	以上です。
0:12:18	規制庁の長谷川ですけど、ここで、
0:12:23	それぞれだからガンマ線のスペクトルと中性子のスペクトルを、両方そ れぞれ説明してもらったらいと思うんだよね。
0:12:32	実際結局キャスクが三つあって、ガンマ線運用の学校です、中性子の スペクトルはこうなってます。実際に建屋の評価っていうのはそれはそ の三つを全部上回ったところで、
0:12:46	セットしているんですっていうそういうことだよ。
0:12:49	なんかそういうふうになんかちょっとわかりやすい説明をもらって、そこでね さっき仮想的津波が云々みたいな評価の話を入れるのは、またね、混 乱を招くんじゃないかと思ってるんですよ。
0:13:03	まずはね。
0:13:07	あれ住む津野上野です。そうですね、まず平常時の、はい。津波の評価 で、いや、ごめんなさい、津波とかさ、形状10とかってあんまり関係なく て、キャスクそれぞれ三つ並べたときのスペックでしかないんだよ。
0:13:24	うん。津波っていうふうには、
0:13:31	考えてもらえばいいだけなんじゃないですか。
0:13:36	はい。RFSむつの植野です。はいおっしゃる通りで、それらを三つを包 絡した。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:43	包絡スペクトルで、従来から変わらないっていうのが、平常時の評価で ございます。
0:13:49	はい。
0:13:50	そこまではだから、わかった。
0:13:54	なので建物の方の遮へい解析ってのはもともと全部が崩落しちゃってる から、や、評価の再評価の必要性はないんですよって言えばそういう話 だよな。
0:14:08	一方で、
0:14:11	そのいわゆる貯蔵区域の評価は、
0:14:16	包絡スペクトルっていうので設計なり説明したんだけど、受け入れ 区域っていうのは、実は違ってたんです。そういうことだよな。
0:14:30	受入れる区域は本当に受入れるもので、評価がされていたっていうそう いうことですかねまずは。
0:14:41	一方、
0:14:42	RFSむつの植野です。この受け入れ区域の評価は、津波が、
0:14:49	来たときの評価ということで、
0:14:52	じゃないですか。だから、何かねえ。皆さん、規制庁のハセガワですけ ど、その津波とか云々っていうように、
0:15:02	そもそも、
0:15:06	何て言うのかな、貯蔵区域の背話と、受入区域は、だから平常時は両 方とも
0:15:16	包絡スペクトルでやったのかな。
0:15:18	そうやって聞いた方がいいのかな。いや、
0:15:22	まずは、
0:15:26	RFSむつの植野です。平常時は、貯蔵区域に 288 基が置かれたそれ はわかってることで、受入区域にはキャスクがないという条件に、
0:15:39	なっております。
0:15:41	矢口だからさっきの、
0:15:46	だから、
0:15:48	わかってたら、受け入れ区域っていうのは、標準的な
0:15:54	要するにノーマルな状態ではつきり出られると思うんだけど、そこでの遮 へいは、見てないっていう。
0:16:02	そういうことはちょっと、ちょっと規制庁の田口ですけど、二つの評価が されてると思います。一つは、敷地境界の
0:16:14	ものにおいては最大 288 を貯蔵区域において 4 日はしてますと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:20	ただし、従事者被ばくというのを考えると、
0:16:25	貯蔵区域 288 ページ、8、
0:16:29	こういった評価をやって、西理事やっているという、
0:16:34	これで間違いないですか。
0:16:45	それ、それも変で彼らはなく、
0:16:50	規制庁田口ですんで、それを前提にすると、いずれもその包絡スペクトルで、つまり、BとP、いろいろこう、
0:17:00	一番厳しいものを線源にしてやってると。
0:17:05	例えば中性子、いや、はい。
0:17:08	ということで間違いないんですよ。
0:17:12	8 時台なんかやんなくていいよっていうことなんだろうな。
0:17:17	リサイクル燃料貯蔵カトウです。
0:17:21	事業許可の申請書上は、貯蔵区域 288 基ある状態での線量を評価しております。
0:17:29	それとは別に適合性説明資料の方で、受入区域内での作業性の評価とか、貯蔵区域内での作業性の評価をやっていきますけどもそちらの方は、
0:17:45	あくまでその中で背アノ作業ができるぐらいの線量かどうかというのを確認するために、貯蔵区域 288 や状態での代表点での、
0:17:55	ポイントでの線量を評価してますけどそれは私、
0:18:00	企画課線量じゃなくて、企画課線量に、
0:18:05	各キャスクのアノ値 1 メーターの線量をかけて、現実的な値に直したもので評価していますけども、それは申請書上の中には出てきてないかと思えます。
0:18:16	規制庁の浅香です大体話がわかったんで、この話は一旦、まず 9、やめて、新しい質問に、
0:18:26	答えていただきたいんですけど。
0:18:28	だから受入区域聞いて、
0:18:32	仮想的津波で一定の損傷があった時の評価というのは、そこに最大量が 8 体あって、
0:18:45	そのときの評価というのは、現状の包絡スペクトルはではなくて、大型キャスク 8 体の、
0:18:57	評価を、現状の許可ではされているっていうそういうこと。
0:19:05	リサイクル燃料貯蔵カトウです。おっしゃる通り殊、従来は大分家のものを、キャスクの内部から出てきてますオリゲンコードを使いまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:17	キャスク表面でMCNPIに置き換えてそれをもとに評価しております。
0:19:24	細かい話規制庁の話、
0:19:28	ところの話でそれで、さっきの
0:19:32	スペックの話になって、今回、そもそも大型キャスクよりも、BWRの中型の方が、
0:19:44	トータルでのスペックが厳しくなってきたので、受入れる仮想的津波で一定の損傷があった時の評価は、
0:19:56	燃料スペックを入れ替えて評価していますというそういうことから、
0:20:05	やはり、
0:20:06	リサイクル燃料貯蔵カトウです。おっしゃる通りBWRBWR中型オノ、同じようにキャップを、
0:20:15	中身を入れ替えて、評価し直しております。はい、わかりました。なので、この説明をするときに、みんなが混乱してしまうのが、
0:20:28	貯蔵区域キーワ崩落捨てつとるを使っていますと。
0:20:33	なので遮へい解析は不要なんだけれども、一方で受け入れ区域が損傷した場合の評価は、下、現実的に入れる。
0:20:45	もので評価しているので、変わってきてしまう、評価のやり直しが発生していますっていう、その辺りをちゃんと説明しないと、
0:20:57	何て言うのかなちょっと混乱を来たすんじゃないかと思っているんで、その混乱のよ、原因っていうのはわかってそこをちゃんと説明できますかね。
0:21:15	はい。リサイクル燃料貯蔵の日浦でございます。当日、ご説明する時はきちんと言及したいと思います。
0:21:24	規制庁の長谷川です。僕は最初の説明聞いた時に、何で建屋の遮へい解析が不要なのに、この仮想的津波で、何か、
0:21:36	一定の損傷があったときに、
0:21:40	評価が変わるんだっていうのが、やっぱり不可解に思ったんで、その下階に思われないように、まずは、
0:21:48	ちゃんと説明はしてくださいねっていう、そういう意味。
0:21:53	です。
0:21:54	規制庁の田口ですけど、前提をちょっと教えてください。まず包括受入区域損傷時に、包括的な
0:22:03	スペクトルでやると。
0:22:06	ちょっと過大な評価なりすぎるので、現実的な評価をさせていただきますということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:12	実際にキャスクの
0:22:15	とするものを使ってやってるということでいいでしょうか。
0:22:22	RFSむつの植野です。その通りでございます。
0:22:28	規制庁の長谷川ですけれども、
0:22:34	この話を新しい二つのキャスクを入れてそっちの方が厳しくなっちゃいましたと。一定の損傷を
0:22:48	考慮して評価すると。
0:22:51	1mSv年間1ミリシーベル等評価上超えてしまいますっていう。
0:22:59	まずそういうこと。
0:23:01	ですか。
0:23:03	RFSむつの植野です。はいBWRの中方が、1mSvを超えてしまいますんでよ。
0:23:13	エース1mSv。
0:23:16	超えないように、何だっけ。
0:23:21	モリとか何かをして、遮へいを
0:23:27	考慮するんですっていうそういう説明なんですか。
0:23:33	はい。RFSむつの植野です。はい。モリタをするという説明になります。以上です。
0:23:44	どういう聞き方を規制庁のハセガワですけれども、どういう聞き方がいいのかわからないんだけどもう、
0:23:53	何が何でも8対応。
0:23:57	ここに入れないといけないのか、それを
0:24:03	1mSvを超えないように整理をすることも可能だとは思うんだけど、ここはRFSとしてノー。
0:24:13	安全設計の基本的考え方みたいなもんだと思うんですよ。
0:24:19	ここは、そもそも脳全体からして、どういう感覚を持ってるんですか。
0:24:34	RFSむつの植野です。
0:24:39	まずBWRのとつ中型の方は、
0:24:45	いや、モリイイノウエモリ炉を通すし、とするっていうことと、あと他のタイプもそうなんですけれども、
0:24:55	キャスクが損傷してから、遮へい機能が復旧するまでの期間を、今回、3ヶ月から2ヶ月に1ヶ月短縮するという二つの
0:25:07	対策。
0:25:09	でもって、敷地境界、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:14	三つとも満足するというような書き方にしております。規制庁の長谷川ですけどそういうことを聞いているんじゃないくて、
0:25:24	そもそもそんな状態になるのを、RFSは、許容するという基本的考え方に立った上で、だから、線量を超えちゃうから、モリノするんだ。
0:25:40	ていうそういう、要は、
0:25:43	基本的な考え方に今立っちゃってるっていうそういうことですかね。いやこれぐらい多分ね論点になったと思っていて、僕らは、そもそもそんなキャスクを受け入れるのかとか、
0:25:56	そもそも8体をどうしてもそこに入れないといけないので、7体でも6体でも、あらかじめわかっているんだから、
0:26:06	超えないように、制御する方が、
0:26:11	今に基本に立つという、その二通りの大きな考え方があると思うんだけど、
0:26:19	RFSは前者をとってるのかっていうところが、
0:26:24	だから前者なのか後者なのかという、そこは、全社が後者で答えてもらったらいんだけど、
0:26:34	老健だと思ってます。
0:26:47	仕事だったらでも、
0:26:50	カッチ。
0:26:56	RSむつ本社の技術安全部シノダと申します。
0:27:02	RSの基本的な立場としては、
0:27:05	持ってくるキャスクに制限は、
0:27:09	設けないで、許認可は、
0:27:13	用意しておきたいというのが、立場としてはあります。確かに現実には
0:27:20	8基同時に持ってくるのかとかいうところはあるとは思いますが、
0:27:25	運用側に制限をかけるよりは、
0:27:30	許認可上は8期、この一番線量が高くなるものでも8受けられるという形で、
0:27:38	取っておきたいというのが、基本的な考え方です。
0:27:45	で、
0:27:47	わかりました。これも論点なので、当日、いろいろな説明だけれども、例えば、
0:27:57	そういうことが事前にわかるわけですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:01	受け入れ区域に、さっき、これから持ってこようとしたときに、超えるというのがわかっているから、事前に
0:28:12	モリノの処置をしておくっていうそういうせ、そういう考え方なんですよね。
0:28:18	RSむつ本社、篠田です。この、
0:28:24	友利に関しては、発災後、
0:28:28	最後じゃなくて、
0:28:31	だからね、いつ発災するかなんてわからないから、事前にやっとかないといけないんじゃないですかっていう。
0:28:42	はい。だから皆さんは何でも受入れる言ってるんだから、
0:28:49	事前に準備できるものはしないといけない。ただ、だからその考え方をちゃんと聞いてるんですよ。
0:28:57	皆さんは、普通に入れたら大丈夫だと。
0:29:03	何も起こってなければ8体入れられるんですよと言ってるわけだよね。
0:29:10	まずね。
0:29:13	そこで損傷してしまった場合には超えちゃうからモリをして、年間1mSvだから、数ヶ月間は、
0:29:22	1mSvというかね、
0:29:28	3ヶ月で0.25だとかいろんな意味でトータルでね、平均的なものとしては一時的に超えたとしても、どっかで下がれば、
0:29:38	いいよねっていうそういう考え方なんですよね。
0:29:47	はい、RFS物の植野です。その通りでございますが、現在の申請では、2ヶ月で遮へい機能復旧して、そのあと10ヶ月間は、
0:29:57	受け入れ区域のある場所にとどまるという評価になっております。わかりました。だから、そそのやっぱり基本的な考え方のところは、いや我々はもう最初っからそんなものは受け入れないし整理をすれば、
0:30:11	いいし、現実的に、MACCSのスペックを、全部MACCSのスペック持ってくるのかって言ったら、わざわざそんな無理度までしてやる必要があるのかっていうのは当日、
0:30:25	これは議論をさしていただくっていうことなんじゃないかなあと。
0:30:30	思うし、それを皆さんが、それっていうのであれば、事前にやっとかないと基本的にだから、何かあったらやるって、
0:30:41	という考えに立つのか、それが最初から予見されているのであれば、きちっと措置すべきではないかっていう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:52	要するに、ある考え方をとれば回避できるわけですよね。それを回避しないと言っているわけだから、それはじゃあ事後でいいのかっていうところはやっぱり論点になると思いますよ。
0:31:08	RFSむつの植野です。発災後 2 アノ、モリ像を構築する意味合いといたしましては、仮想的大規模津波、あらかじめモリタを設置しておきますと、
0:31:21	仮想的大規模津波で、そのモリタ自体が損傷するっていう、
0:31:27	いる可能性もございますので発災後に、
0:31:30	モリを設置するという、
0:31:33	想定しております。全然、規制庁の長谷川ですけどそれはそれでよく、またそれって言えば、そういう説明をすればいいけれども、
0:31:43	意外とほとんど首を絞めていく気はしないでもないので、2 度来ない約束もないし、
0:31:51	かえてそのモリノは、災害を別の災害を引き起こす可能性もあるということをもた自分たちで言ったわけですよね。
0:32:11	ですけどとりあえずですね今のご指摘はわかってるんですけど、わかったつもりなんですけど、とりあえず今の申請書は、許可の内容を延長して申請してる。
0:32:23	詰めていますので、そこをですね、考え方を考えるかというところは議論なのかもしれません。実態ですねと言った通り、我々ヒダカはツチヤ型と運用で、
0:32:36	多分 8 期がないのをできると思ってますので、そうするとですね
0:32:42	とかと、その後の保安規定、
0:32:45	ところで多少なりとも差別化して管理ができるっていうのも、
0:32:50	なくはないんですけど、さっき言った通りですね我々は受け入れる。
0:32:55	立場でしかないなので、そこで、
0:32:59	制限をかけておくよりは、そこは少し、
0:33:02	許可だけは、
0:33:04	大きくとつといて、
0:33:06	運用側で、
0:33:07	電力さんと調整ができればそんなこともしながら、
0:33:11	多少は事前に抑制すると、そんな考え方ができるのかなと思います。以上です。規制庁の長谷川ですけども。
0:33:22	そもそも何かあった場合に、遮へいの必要な措置をとるっていうことは、受入区域、も、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:33	それから貯蔵区域も含めて、全体としてすでに許可の中では、そんなふうにはなっていたと思うんですよ。
0:33:43	だからそういう意味では、あえて、今回そういうふうなことをする必要はないし、
0:33:52	このペースもう、
0:33:55	受け入れられないわけじゃない。
0:33:57	MACCSのスペックなやつを8基まとめて受入れることはもしかしたらできないかもしれないけれども、
0:34:06	別に回数を分けるだけで、制限がかかっていくわけでは、実質的にないのではないかと、そうするとこういう説明が、
0:34:18	本当になんていうんですか、一番厳しいというか、多分やらないような説明をすることが果たして、
0:34:30	何て言うのかな、
0:34:33	安全の基本的な考え方に立ったときに、いいのであろうかというのが論点なんじゃないかなと。
0:34:45	だから枠を制限してるわけでは決してない話であって、そもそもすでに全体として、
0:34:55	既許可の中では、考え方が述べられているので、なぜあえてこの説明をする必要があるのかが非常に何かよくわからないんですよねと。
0:35:07	いうところなんですけど、その辺りはどうなんですか。
0:35:28	ちょっと少し。
0:35:29	相談させてください。
0:35:32	規制庁の長谷川ですけどいずれにしろ、
0:35:36	会合の場で、この話をすればいいだけなので、
0:35:41	当日お話ししましょうということでこの話は大体わかったので皆さんの考えを確認ができたので、
0:35:51	次の話。
0:35:54	なんですけど、次は何かアガツマインターの撤去って、
0:35:59	ちょっとこれ説明し、
0:36:01	してもらってもいいですか。
0:36:06	RFSむつの植野でございます。
0:36:09	はい。衛藤。
0:36:11	ガスモニター、現状の事業、事業許可と設工認に記載をしてございます。
0:36:19	衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:21	今、今回ですね、そのガスモニターターにつきましては、
0:36:28	大きく二つの理由で、通す、撤去したいというふうに考えております。
0:36:35	一つ目は金属キャスクからの放射性物質の漏えいの検知ってということに関しましては、
0:36:44	蓋間圧力の監視をすることで、検知が可能と考えております。
0:36:50	もう一方で
0:36:53	事業許可では想定しておりませんが、金属キャスクから放射性物質が、
0:36:58	一次分谷豚、両方ガスケット不具合で、
0:37:02	漏えいした場合には、
0:37:06	ガス以外に粒子状の放射性物質も、
0:37:09	同時に漏えいすると考えられるので、そちらについては粒子状物質、
0:37:14	はダストサンプラで採取して測定可能なので、
0:37:19	通す、そちらの測定で、
0:37:23	大丈夫というふうに考えまして、ガスモニタを撤去したいというふうに考えております。
0:37:30	規制庁の長谷川ですけどだから何で当初の許可時にそれをやってないの。
0:37:38	RFSむつの植野です。はい。そこをご指摘はおっしゃる通りで、当初の
0:37:44	許可申請の時には、
0:37:48	原子力発電所の記載等もちょっと参考にしながら、
0:37:52	非バスモニタも含めて列挙したというところがございます。
0:37:56	規制庁の長谷川ですけどさらに今の説明だと、ダストサンプラーより、多分勝モニターのが、現地早いもし本当にやつが漏れたら、
0:38:07	スピード感としては、
0:38:12	ダストサンプラー札幌市でそれを持ってってみたいなことになると、より時間がかかるじゃないですか。
0:38:19	だから、何か合理的な説明にもなっていないような気がするし、蓋間圧力云々っていうだけで、現実的に線量をどう見るかっていう、
0:38:31	点においては、何かちょっとまだ根拠不十分な気がするんですけど。
0:38:38	もうちょっとさ、橋な何て言うのかな説明ができるんじゃないかなっていう気はしてるんだけど、
0:38:47	RFSむつの植野でございます。その測定の測定というものにつきましてはガスモニターの方も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:58	バックグラウンドとの添測定値と 3、30 分ぐらいかけてですねやってから測定可能と。
0:39:06	なりますので、そういう意味ではダストサンプラー。
0:39:09	で採取して、GM管サーベイメーターで測定する方が、
0:39:14	迅速性という意味では、あるというふうに考えております。そもそもですね。
0:39:21	この話はさ、蓋間圧力がおかしいとかなったときに、線量計持ってって近くの方の、もうエリアモリかとかさ、そういう方がさよっほどさガンマ線ね。
0:39:33	直接その場で測った方が楽なんじゃないんですか。
0:39:41	RFSむつの上野です。はいエリアモニターの監視機能が土肥生きていまして、そのような高線量の
0:39:51	漏えいが出た場合にはエリアモニターの現地の方で、
0:39:57	対応はできると考えております。
0:39:59	またそこで生きていたらとか死んでいたがってどういう意味ガスモニターの方から、
0:40:05	じゃあ信頼性が高いとか、何かダストサンプラ申請大学生がそういう信頼性の話をまたするんですか。
0:40:13	この話ね、要するにガス 2 課ってもともと何でつけたのとか、何かあったときにね、どう検知するのかとか、
0:40:23	全体的な一体的な説明の中でどういう位置付けになってるか、その位置付けからして実は不要だったのをずっとしてましたっていう、
0:40:34	何かもうちょっとさ、こう、
0:40:37	こうなんかね、論理立てた説明になってないと。
0:40:41	こういけないんじゃないかっていう気がするんですけど。
0:40:45	要するにこれを外しちゃいけないとか、いいとかっていう話と別に、しっかりした、何て言うのかな説明のロジックが、
0:40:55	まずは大事なんじゃないかと思っているんですけど。
0:41:04	何かロジックは、
0:41:06	いまいち感があって、納得感が今言わないんだよねっていうロジックにナップからね。
0:41:27	RFSむつの植野です。
0:41:31	そういう意味ではガスモニタ自体の測定上の問題点等もありましてちょっと微小漏えいの検知には、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:40	向いてないとかですね、あとごめんなさいそういうそういう、規制庁の長谷川ですけど、何かローカルな話ではなくて、全体のロジック。
0:41:54	いるといったものを外すわけですよ。
0:42:03	今みたいな話だと僕たちそんなことも知らずに、できると思って書いてあるんだけど、やっぱり信頼性薄いでやめますみたいな、そういうふうな説明をする羽目になっちゃう。
0:42:16	じゃないですかと、もっといい方法があったのに、こうですとだったらですね、今度はですね、ダストサンプルをメインに何かするとか、全体的なロジックを変えないといけない。
0:42:35	だからもうちょっとましなね、ロジックがあるんじゃないのかっていう、
0:42:47	もうちょっと科学的にとか、技術的な話とか、そういうので、なるほどねっていうふうにならないと、
0:42:57	許可浙江2を受けたやつを、やっぱりウエマツはっていう世界を、をちゃんとかうね。
0:43:04	他人にもわかりやすく説明しなければいけないというところに立たされてるわけですよ。
0:43:16	そういう感じで物を言ってるんだけど、大丈夫ですか。
0:43:23	RFSむつの植野でございます。
0:43:27	大須賀。
0:43:28	そうですねなんか、
0:43:32	はい。衛藤。
0:43:34	家畜の趣旨は理解いたしましたが、
0:43:39	そういう意味では最初に申しあげました通り
0:43:43	漏えいの検知って意味では、やっぱり
0:43:47	爆発力の監視の方が、
0:43:51	はっきり検知ができるっていうふうに、
0:43:55	考えているのと、
0:43:57	放射性物質が漏えいした場合には、
0:44:01	粒子状の放射性物質
0:44:04	の測定で、復旧作業の環境測定や、放射線の防護装備の判断ができるというふうに考えて、
0:44:14	今回申請してございます。ちょっとさ質問を変えてさ、蓋間圧力とかがおかしくて、放射性物質が漏えいしたのではないかと疑われましたと。
0:44:27	線量計も何かそれを示唆していますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:31	言ったときに、何がどんだけ出たんだっていう、次の質問が、白書からあるわけですよ。
0:44:38	それはどうやって測るのかって、
0:44:46	壊れたらなんて、
0:44:54	うん。
0:45:04	RFSむつの植野でございます。
0:45:09	今、
0:45:11	考えておりますのは、
0:45:14	ダストサンプラで粒子状の物質等後要素を、
0:45:19	チャコールフィルターで採取して、
0:45:23	それを測定するというので考えておりました。わざわざガスを外すよう で、ガス状のものはさ、何か出たんですかって聞かれたら、
0:45:48	RFSむつの植野でございます。
0:45:51	そうす。そういう意味ではガスモニターはガス状の放射性物質濃度を測 定するためにはございます。
0:46:02	ただ、
0:46:04	その微小漏えいには不適で、ここ、バック、金属キャスクの、
0:46:10	1000 線量等のですね、バックグラウンド線量を超えるような、
0:46:14	ここの濃度の濃度の場合は、検知できるというふうには考えておりま す。
0:46:23	で言って、
0:46:26	だからね、そもそも論とかね。要はあるものを、許可で施工にまで受け て、外すっていうことは価値がないという説明をしないといけない。
0:46:43	でも、許可で最初は価値があると思ってつけたものだから、価値が、こ れ難しいの外すのか。だから、そのまま置いとくなり、
0:46:53	代替の設備で、こっちの方がよりいいんですと。
0:46:57	いうものなのかだから、
0:47:00	ていうのと、そもそも価値がなくて、こっちの方がよっぽどいいんです ていうふうに、測定システムを変えるっていうと、
0:47:11	が、
0:47:13	ガスは別の形でも測れるってと、だから消すって結構難しいんだよね。
0:47:20	いや、多分、完全にこれ、ガスモニターはもうやめますね。大体こうい うふうにしますっていう。
0:47:32	例えばガスが図れるものはこういうふうにしますっていうのは、割といけ るかもしれない。割とすぐわかりやすいんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:41	どれだけ価値がないかっていう説明を、何も大体 2 イセ、Aの測定器をつけなかった場合に、よっぽど価値がないっていう説明を、
0:47:51	するのが一番手っ取り早い気がするんですけどそういうことなんですか。
0:48:01	RFSむつの植野でございます。
0:48:07	そうですね当初の申請、
0:48:12	上、
0:48:13	あまり有効。
0:48:17	有効ではない手段。
0:48:19	だったのではないかというふうにちょっと、ちょっと考えておりました。あまり、あまり有効ではないってことは、有効ではあった。
0:48:28	もう 1 回ちょっとどういう説明をしたか我々も確認しないといけないけれども、
0:48:34	虚偽の説明みたいな、なるのも変ですよ、おかしい説明をしていたっていう。
0:48:42	皆さんは許可のときにどういう説明をしたかっていうのも、ちゃんとかう調べたり、
0:48:48	こう理解して、この話を進めてます。
0:48:54	RFSむつの植野でございます。
0:48:57	当初の申請におきましては、金属キャスクからの放射性物質の漏えいが疑われるような、
0:49:07	場合ですね、そういう場合に、の測定に使えるのではないかっていうふうに、
0:49:13	考えてございました。
0:49:16	忘れるのではないかっていうそういう中途半端な言葉だった。
0:49:23	RFSむつの上野です。申し訳ございませんそういう中途半端な言葉ではございませんで、
0:49:31	疑われるようなときに、
0:49:34	測定するために用いるという、
0:49:38	ここで書いてございます。
0:49:40	なので、
0:49:43	規制庁のハセガワですけど、一定のちゃんと価値があるものとして、それぞれでやりますと言ったところを、実はそうじゃなかったんです。何の価値もないんですっていうそういう説明に変わるっていうこと。
0:50:08	RFSむつの植野でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:12	放射性物質の漏えいが疑われるっていうその漏えいの検知の運営については、やはり不タカマツカの方の関心は聞いてない。
0:50:24	規制庁の長谷川ですけど、二つは圧力の話は聞いてない。
0:50:35	だから許可の世界ではダブルトリプルでいろいろやったって別に構わないし、ウタ活力は単に圧力の話だけであって、現に放射性物質が出たかどうかの話はどうでもいい話だ。
0:50:54	だ話をすりかえないよ。
0:51:07	もともとこれもう当日、
0:51:10	聞きますけれども、こういう会話になるんです。
0:51:16	なのでしっかり、
0:51:19	さっき言った、いらぬカッチをせん。
0:51:22	説明していただくということと、それから、当初の許可のときと余りにも食い違ってくる、おかしな説明をしたということにもまたならないように、
0:51:36	はっきりちゃんと整理して説明をしていただかないと、いけないんじゃないかなという気がします。
0:51:45	別に外してはいけないっていうこともないのかもしれないけれども、いずれにしても適切なロジック食う、科学的根拠に基づいた適切なロジックで、
0:51:58	を構築していただく必要があるかなあと思っています。
0:52:08	大丈夫ですか。
0:52:10	はい。RFSむつの植野でございます。ご指摘は理解いたしました。
0:52:16	浅香です。少し整理してですね、当日臨みたいと思います。はい。ありがとうございます。はい。
0:52:22	あとは、
0:52:24	特にない。
0:52:25	以上かな。
0:52:27	立ち会って、
0:52:32	確認するところ。
0:52:34	これは異常なので、ワーツと。
0:52:36	当日の楽しみっていうことで、
0:52:39	こっちから何かあります。
0:52:45	IRS三橋でございます。特にございません。
0:52:57	RFS東京事務所の方ですけどもこちらも特にございません。
0:53:05	規制庁さんは市長は特にございませんので、あれしょうがないようですね本日のヒアリングはこれで終了したいと思います。
0:53:13	どうもありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:16	ありがとうございました。
0:53:19	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。